

カストロ前議長死去



発行所
山形新聞社
山形市旅籠町2-5-12
電話 代表023 (622) 5271
Copyright (c) 2016
Yamagata Shimbun

2016年
11月26日
〈土曜日〉

電子
速報版

やましん e聞

特別号外

■やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

キューバ革命の英雄

90歳 世界の左翼に影響

【ハバナ共同】キューバの最高議長が25日、死去した。1959年1月にキューバ革命を実現させた以来、約半世紀にわたる指導者として君臨し、世界中の左翼運動に影響を与えたフィデル・カストロ前国家評議会議長が2006年7月に腸

内出血で手術を受けた後、08年2月に元首である議長職を引退して

れたという。ラウル・カストロ氏は「わが国民と中南米、世界の友人に（前議長の死去を）お知らせする」と述べた。死因は明らかにしなかった。

絶対的な指導者を失ったことで国民の動揺は避けられない。ただ、フィデル・カストロ氏は既に全ての主要な公職から退き、跡を継いだラウル・カストロ氏が安定した政権運営を行っており、社会主義体制は当面、堅持される見通し。

米政府はカストロ兄弟が率いるキューバを「圧政国家」と非難し民主化圧力をかけてきたが、オバマ米政権は大きく方針転換し、両国は15年7月に国交を回復。16年3月、オバマ大統領が現職米大統領として88年ぶりとなる歴史的なキューバ訪問を果たした。



2004年、ハバナでの反米集会で演説するフィデル・カストロ前国家評議会議長 (AP=共同)

キューバ国营テレビによると、フィデル・カストロ氏は25日午後10時29分（日本時間26日午後0時29分）に死去した。遺体は火葬された。

フィデル・カストロ氏は11年4月には共産党トップの第1書記からも退任。その後も断続的に政府系メディアで対米批判などを続け、国民の前に姿を見せる機会は減っていた。

購読・試読のお申し込みは▶
フリーダイヤル 0120-81-8040